

横田基地のC V-22オスプレイの飛行再開の中止等に関する意見書（案）

令和5年11月29日、米軍横田基地所属のC V-22オスプレイが鹿児島県屋久島沖で墜落した。この事故を受け米軍は、同年12月7日にオスプレイ全機の飛行停止措置を採ったが、令和6年3月8日に飛行停止措置の解除を発表した。これを容認した防衛省に対し、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、墜落事故の原因や安全対策などを明らかにするよう要請した。しかし、同年7月2日には、事前の通告もなく飛行が再開されている。

同年8月2日に米軍が公表した事故に関する調査報告書では、事故の原因は、ギアボックス内でギアが破損し、エンジンからプロップローターに動力を伝達できなかったこと、警告灯が表示されても操縦士が飛行を継続したこととの2点であると説明された。

しかし、ギアが破損した理由は明らかになっておらず、今後の再発防止策も示されていないにもかかわらず、オスプレイは飛行を再開している。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、横田基地のC V-22オスプレイについて、次の事項を実現するよう強く要請する。

- 1 米軍に対しギアが破損した理由、安全対策及び再発防止策について説明を求めるとともに、その内容を国民に明らかにすること。
- 2 米軍に対し、飛行再開の中止を求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年10月 日

東京都議会議長 宇田川 聡史

衆議院議長	}	宛て
参議院議長		
内閣総理大臣		
総務大臣		
外務大臣		
防衛大臣		

